

鶴見大学

TSURUMI

鶴見大学文学部ドキュメンテーション学会主催による

デジタルライブラリー国際セミナーを開催

デジタルライブラリー、図書館情報学の分野で精力的な活動をされている米国ボストンにあるシモンズカレッジ図書館情報学大学院Ching-chih Chen教授をお招きして、2004年12月22日に鶴見大学会館ホールで、Global Memory Net Offers the World Instantly: Potentials for Universal Access to Invaluable Japanese Contents (世界に情報提供Global Memory Net: 日本の貴重なコンテンツへの海外からのアクセスの可能性を探る)と題して講演会が開催されました。

当日は、他大学図書館や情報専門家など学外からの参加の他に、ドキュメンテーション学科の1年生や他学科の学生が多数参加しました。

Chen教授は講演に先立って、柳澤学長代行、宮本事務局長を訪問され、日本の文化資産のデジタル化や日米の大学間の今後の交流など親しく懇談をされました。



Chen教授と柳澤学長代行（前列左）、宮本事務局長（後列右）、岡田学科主任（後列中央）、長塚教授（後列左）



その後、Chen教授は本学図書館を見学され、特に、古地図、奈良絵本、狭衣物語などの貴重書に非常に深い関心を示されました。また、創立80周年記念として発行された本学所蔵の貴重書の文献解題付き目録「和歌と物語」にも強い興味を示され、デジタル化への促進を強調され、本学との共同研究の意欲も示されました。

Chen教授は、米国のデジタルライブラリー研究をリードしてきた指導者のひとりで、現在は、米国科学財団からの資金援助を得て、「Global Memory Net」プロジェクトの研究をされています。

旧来のコレクションを「所有」する時代から情報を「共有」する時代にと変わっている中で、図書館も多くのコレクションを所蔵する「物理的な実態のある図書館」からデジタルで情報を世界に提供できる「バーチャルライブラリー」に変化しようとしていると指摘されました。



このような時代に、Chen教授は1980年代より先駆的に双方向ビデオディスクやマルチメディアCDの研究に取り組み、現在は米国科学財団の支援でデジタルライブラリープロジェクト「Global Memory Net」に取り組んでおられます。また、中国と米国の共同プロジェクトである「Million Book Digital Library」にも深く関与されています。

現在進行しているプロジェクト「Global Memory Net」は世界の文化的な資産へのアクセスを可能とすることを目標としており、講演の中でシステムのデモンストレーションが行なわれました。

今後、鶴見大学など日本の大学と協力しながら、日本の文化資産をデジタル化し積極的に提供して行きたいと述べておられました。



また、講演終了後、大学会館1Fのセンターホールで学外からの参加者と学生が参加してChen教授を囲んでの懇談会が開催されました。Chen教授に積極的に質問に行く学生も見られ、和やかな懇談会となりました。

参加した学生からは、このような文化資産のデジタル化による公開の試みについて、大変興味を覚えて自分でも取り組みたい、英語での講演だったので細部までよく理解できなかった講演原稿をよく読み



このような時代に、Chen教授は1980年代より先駆的に双方向ビデオディスクやマルチメディアCDの研究に取り組み、現在は米国科学財団の支援でデジタルライブラリープロジェクト「Global Memory Net」に取り組んでおられます。また、中国と米国の共同プロジェクトである「Million Book Digital Library」にも深く関与されています。

現在進行しているプロジェクト「Global Memory Net」は世界の文化的な資産へのアクセスを可能とすることを目標としており、講演の中でシステムのデモンストレーションが行なわれました。

今後、鶴見大学など日本の大学と協力しながら、日本の文化資産をデジタル化し積極的に提供して行きたいと述べておられました。



また、講演終了後、大学会館1Fのセンターホールで学外からの参加者と学生が参加してChen教授を囲んでの懇談会が開催されました。Chen教授に積極的に質問に行く学生も見られ、和やかな懇談会となりました。

参加した学生からは、このような文化資産のデジタル化による公開の試みについて、大変興味を覚えて自分でも取り組みたい、英語での講演だったので細部までよく理解できなかった講演原稿をよく読みなおしたい、など積極的な意見が多く見られました。

参加していただいた方々のご意見を次回の企画に参考にさせていただきます。セミナーへのご参加ありがとうございました。